

喜びと感動の秋

<今月の聖句> 「地はお造りになったものに満ちている」
(詩篇104:24)

寒冷紗が外され、さわやかな秋空が広がっています。
猛暑だった夏が嘘のように、穏やかな光と風に包まれて
さつまいも、夏みかん、栗、かぼちゃ…
神さまは今年も、豊かな自然の恵みと喜びを与えてくれました。

秋の始まり、年長キャンプに同行させてもらった時のこと。
前半の川遊びで思い思いに川石やサワガニを取っていると…
ザッザッザッ向こうから見知らぬ一団が岸辺を行進してきました。
小学高学年とおぼしき二列縦隊は、先生らしき方の号令一下
ピタッと停止。川でしてよいこといけないことの細かな指示を受け
「分かりましたか」「はいっ」「それでは入ってよし」「はいっ」
一斉に川に入るも「そこにはいかない」「こっちで」と5～10分
続く指示、やがて「終わり～上がりなさい」。再び静かに整列。
「楽しかったですか」「はいっ」「では行きます」ザッザッザッ
滞在中こちらの耳に残ったのは、先生の指示の大声だけでした。
主人公は誰なのだろう。素朴な疑問があふれました。

子どもたちの心の声、あふれる思いだけが響き渡る世界。
成功や失敗を自ら受け止め、試行錯誤し、再チャレンジできる空間。
そこでこそ、子どもたちは自分として成長することができるのではないか。

キャンプ後半はアスレチックに挑戦です。ある子が私の手を放しません。
「こわくて登れない」。目の前にそびえる、切り株で埋め尽くされた斜面。
その場はルートを迂回し巡るも、再び同じ場所に来た。どうするだろう。
と、目の前で、友だちが手足を交互にうまく使い斜面を、するするっと。
しばらく見つめた後、その子は友だちと同じように手足を動かしてはじめた。
一歩、また一歩。ついに、登り切った！
その間、私は一言も声をかけませんでした。
でも、心は感動でいっぱいでした。

(つくし保育園園長 つだかすお)

※来年度に向けて入園申込が始まりました。当園にご興味のあるお知り合いが
おられましたら、ご紹介をお願いします。随時の入園も相談いたします。